

水道水に感謝を

東京都国分寺市立第四中学校 一年A組

清田 舞

っ おいしいっ！

私は大好きなお菓子をほおほるようにコップ一杯の水道水をごくごく飲み干した。東京では、こんなにおいしい水を簡単に飲めるのかとびっくりした。

私は以前、外国に住んでいた。その国では水道水は飲めなかった。水道水は主に食器や

お風呂を洗うことなどに使っていた。そのため、

水を飲むときはウォーターサーバーを使

ていた。ウォーターサーバーの水がなくな

ったとき、新しいものを運んで取り付ける作

業は重くて大変だった。それが当たり前で、

そうするしかなかった。

そして日本に帰国したとき、水道水が飲め

ることに思わず驚嘆の声をもらした。おいし

いのだ。

きれいな水道水は、飲むこと以外にも様々

な場面で使われている。蛇口をひねったら水が出てきて、その水は何にでも使えるのだ。この便利な生活は世いたくだと最初は感じた。しかし、その生活に慣れ、私はありがたみを忘れていてしまった。水が容易に手に入れられることを当然のことだと錯覚するようになった。小学生のときに水がどのようなして私たちのところへ来ているのが学習した。そのときは感動したものだが、中学生になり、感動したというところが思い出せなくなっていた。私ほどのようなことに感動したのか、水道水の仕組みを再び調べた。おいしい水道水は、人の支えで成り立っていることを知った。まず、緑のダムと呼ばれている水道水源林を手入れする人がいる。森林の様子を調べたり、光が入るようところどころ木を切ったりすることで森林全体が健康に育っている。この間伐という作業は、水をたくわえ、おいしい水をつくり、土砂が流れるのを防ぐ森林のはたらきを促している。

川を流れてダムに来た水の状況確認をする人もいる。雨が多く降るときもあれば、なか降らないときもある。降らないときのたぬに、水をダムにためて計画的に流す役割がある。こうして私たちが毎日水を使えるようにしてくれているのだ。

川の水が浄水場に入る取水塔を通り、着水井にたどり着く。ここでは浄水場に入り、汚れた水の量を調整する。次に混和池へ行き、汚れを固めるための薬品を入れ、プロペラのつ

いた縦軸が速く回転し、かき混ぜる。そこからフロツク形成池でプロペラのついた横軸がゆっくり回転してかき混ぜる。汚れのかたまりフロツクができて、だんだん大きくなる。そうして薬品沈殿池でフロツクが沈んでいく。底にたまった沈殿物は機械がかき寄せ取り除く。次に進み、高度浄水施設のオゾン接解池で、おいのもとを分解する。生物活性炭吸着池で分解後のおいのもとなどを取り除く。急速ろ過池で石や砂などの間をくぐりぬける

ことで、よりきれいな水へと近づいていく。
薬品注入所で薬品を入れ、目に見えない菌を
殺す。きれいになつた水道水を配水池でため
ておく。最後に送水ポンプによつて電力で力
を加え、きれいになつたおいしい水道水を送
り出す。また、排水管から水もれしてはい
か、水道局の職員の方が夜見回つている。
こうしたいいくつもの手順を終えた水が私た
ちの手元に来る。水道局で働く方々のおか
いで私たちの生活は支えられている。安全で安

心、便利な生活を送れている。

ある日、漏水修理のため、しばらくの間、
水道水が使えなかつたときがあった。水を飲
むときは買ったものをコップに注ぎ、手を洗
うときははどうすればいいのだろうと頭を抱え
た。ほんの数時間だつたが、それでも私は常
に水道水にお世話になつていたので改めて
実感できた。

私たちは毎日大量の水道水を、必ず使う。
世界には、東京に住む私たちのように自由に

水を使えない人もたくさんいる。水道水を使
わせていただいているという感謝の気持ち
忘れてはならない。そして限りある水を大切
に使うていくべきだと思う。

毎日私たちが安全な水を飲めるようにして
くださり、ありがとうございます。水道水を
使えることに感謝し、あの感動を日々思い出
したいと思います。今、水道からいつも通り
出てきた水を飲み、心の中でつぶやいた。

これから、必要のない水は使わない。水
を流したままにしない。もう一度使える水は
また使う。こうした工夫をしていきたい。